

3. 調査結果要約

1. 地震発生の予測及びその影響予測についてのまとめ

該当：Q1～Q4

Q1. 危難の予測（13の危難）：「非常に大きい」のは？

- A 起こる可能性 → 「地震」(34.7%)
- B 命と健康に及ぼす被害の程度 → 「地震」(39.2%)
- C 経済的被害の程度 → 「火事」(42.9%)
- D 恐ろしさの程度 → 「火事」と「地震」(同率56.9%)

Q2. 最も恐ろしい危難(3LA) → 1位「地震」(58.5%)
2位「火事」(49.9%)
3位「交通事故」(40.1%)

※女性はすべての年代で「地震」、男性は年代によって異なる。

Q3. 個人の体験した危難 → 「地震」(67.8%)、「台風・強風」(47.6%)

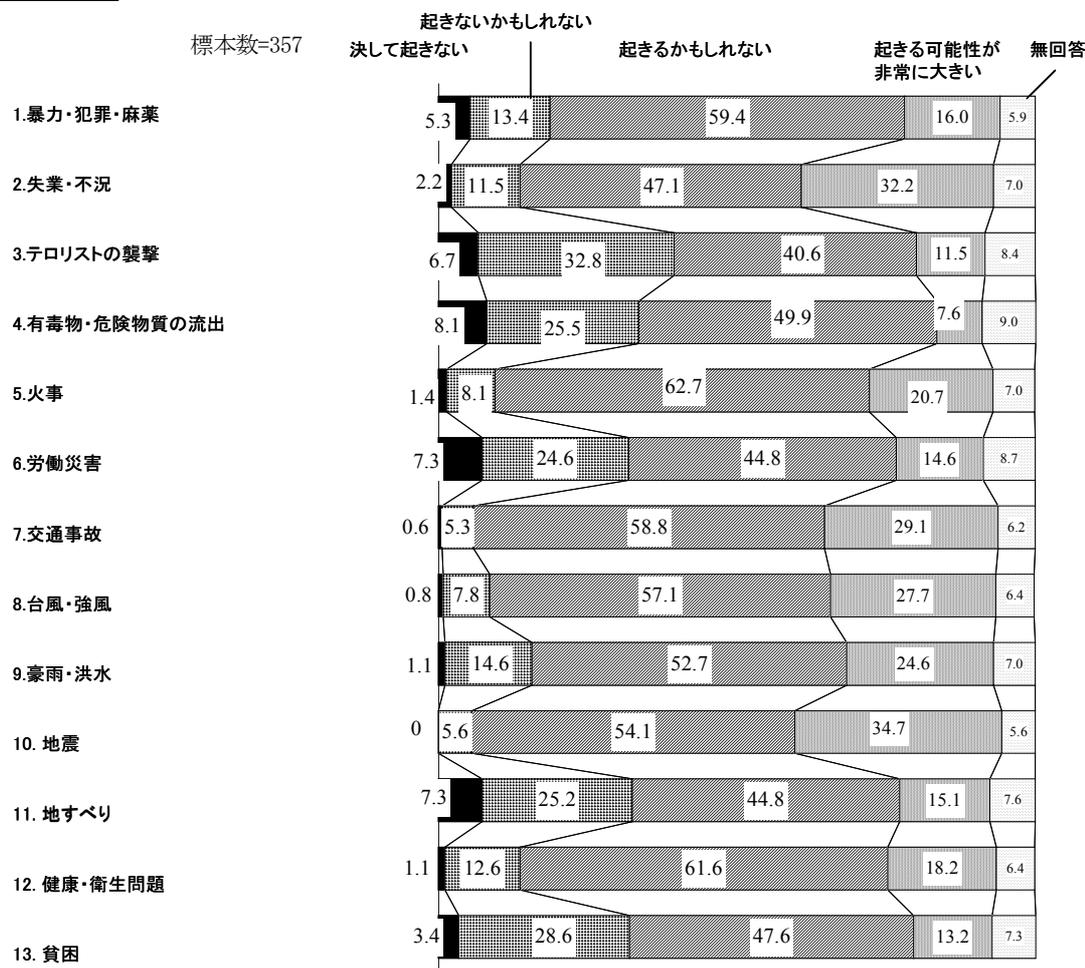
Q4. 地震に特定した場合

→ 「非常に大きい」	可能性	24.1%
	命・健康への被害	26.3%
	経済的被害	31.9%
	家屋被害	34.2%
	地域への影響	29.7%

・呉市民は、「地震」の可能性・恐怖を「火事」とともに最も強く感じている。しかし、「非常に大きい」と考えている人は3割以下、6～7割の人は「かもしれない」と考えている。

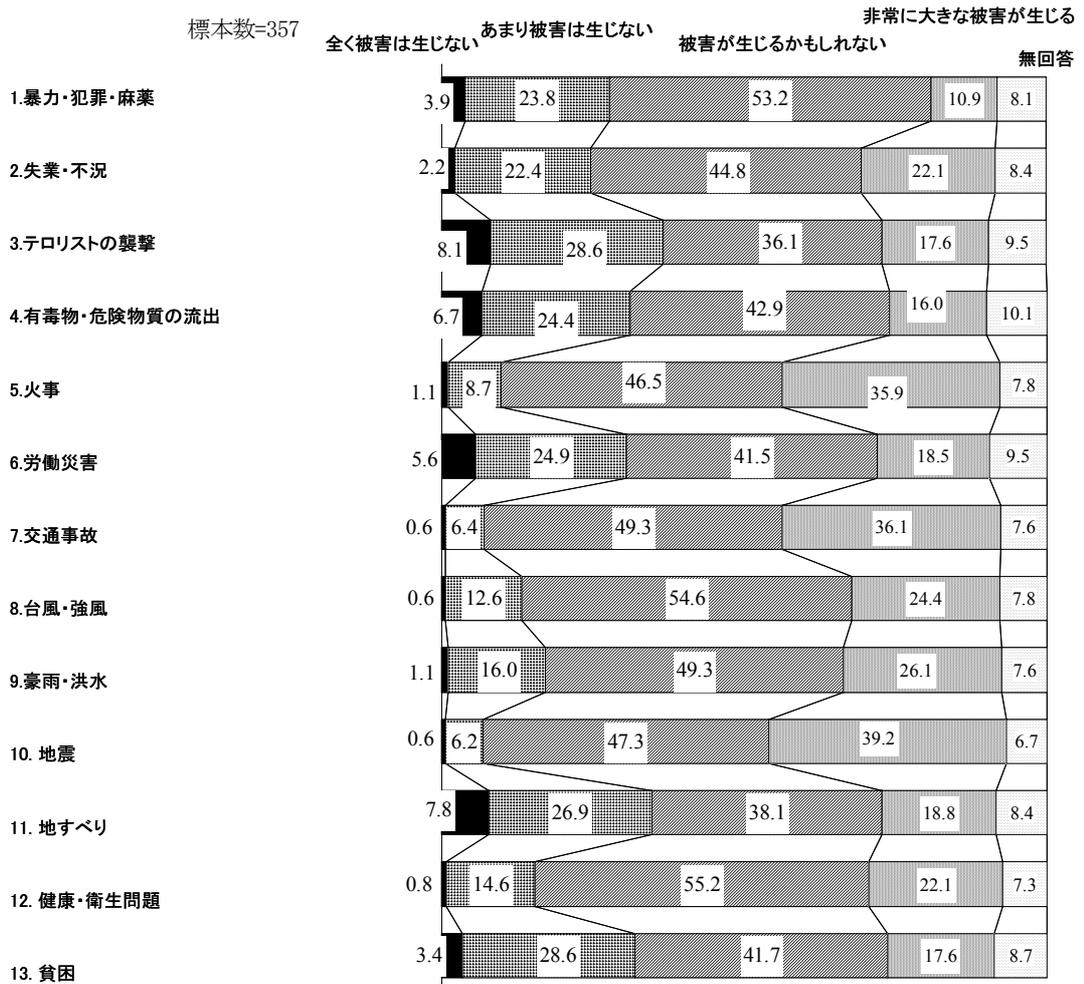
1. 下記の1) から13) までの様々な危険に対する、(A) から (D) のそれぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つずつ選んで○をつけてください。

(A) 起こる可能性



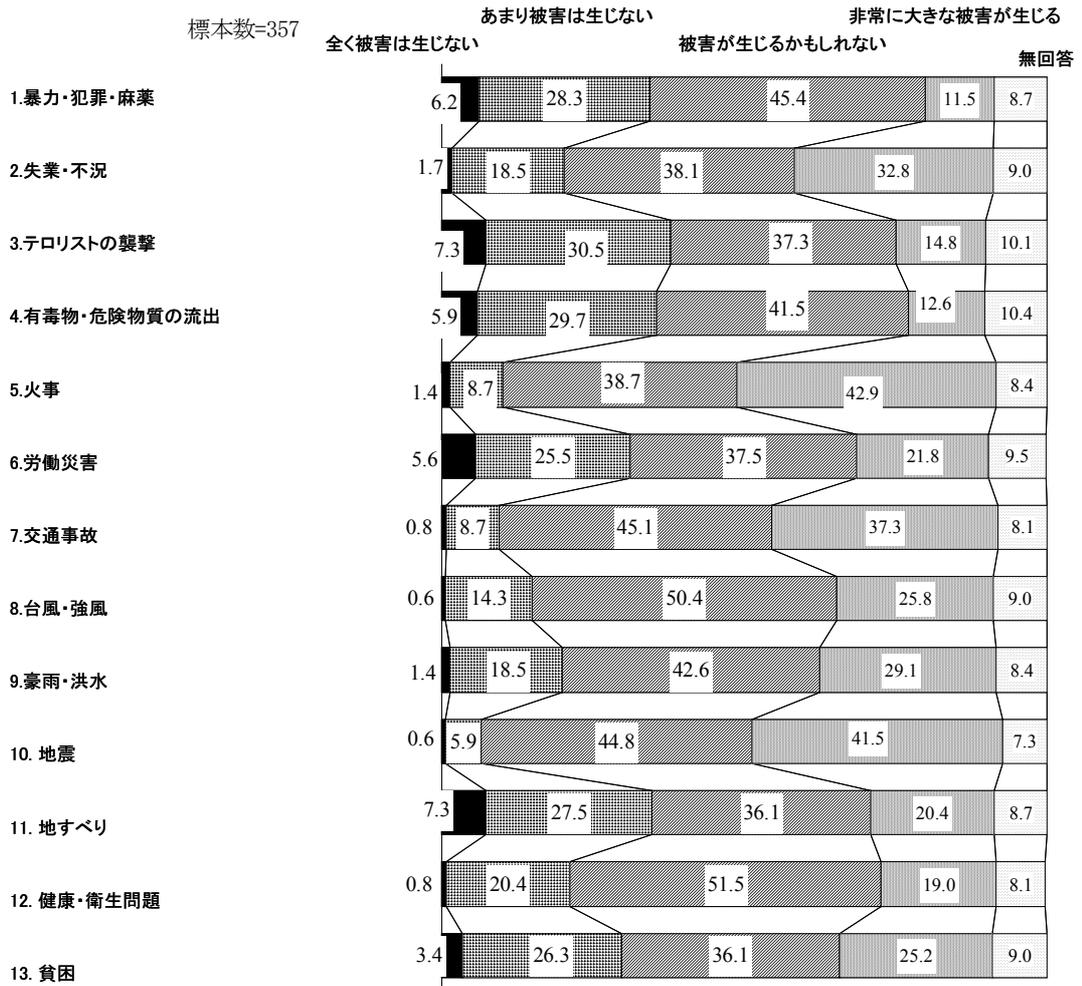
- ・回答者全員(n=357: 20歳以上の呉市民、男女)に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“起こる可能性”の程度を4段階で尋ねた。
- ・その結果、「起きる可能性が非常に大きい」として、最も多くの人があげたのは「10. 地震」(34.7%)、次いで「2. 失業・不況」(32.2%)である。
- ・「起きる可能性が非常に大きい」と「起きるかもしれない」を合わせてみると (<可能性がある>)、最も多かったのは「10. 地震」(88.8%)、次いで「7. 交通事故」(87.9%)、「8. 台風・強風」(84.8%)が続く。
- ・性×年齢別で見ると、「男性40代」で「2. 失業・不況」が「起きる可能性が非常に大きい」で60.0%などのように世代的な特徴が見られる。(→データ編Q1参照)

(B) ご家族の命と健康に及ぼす被害の程度



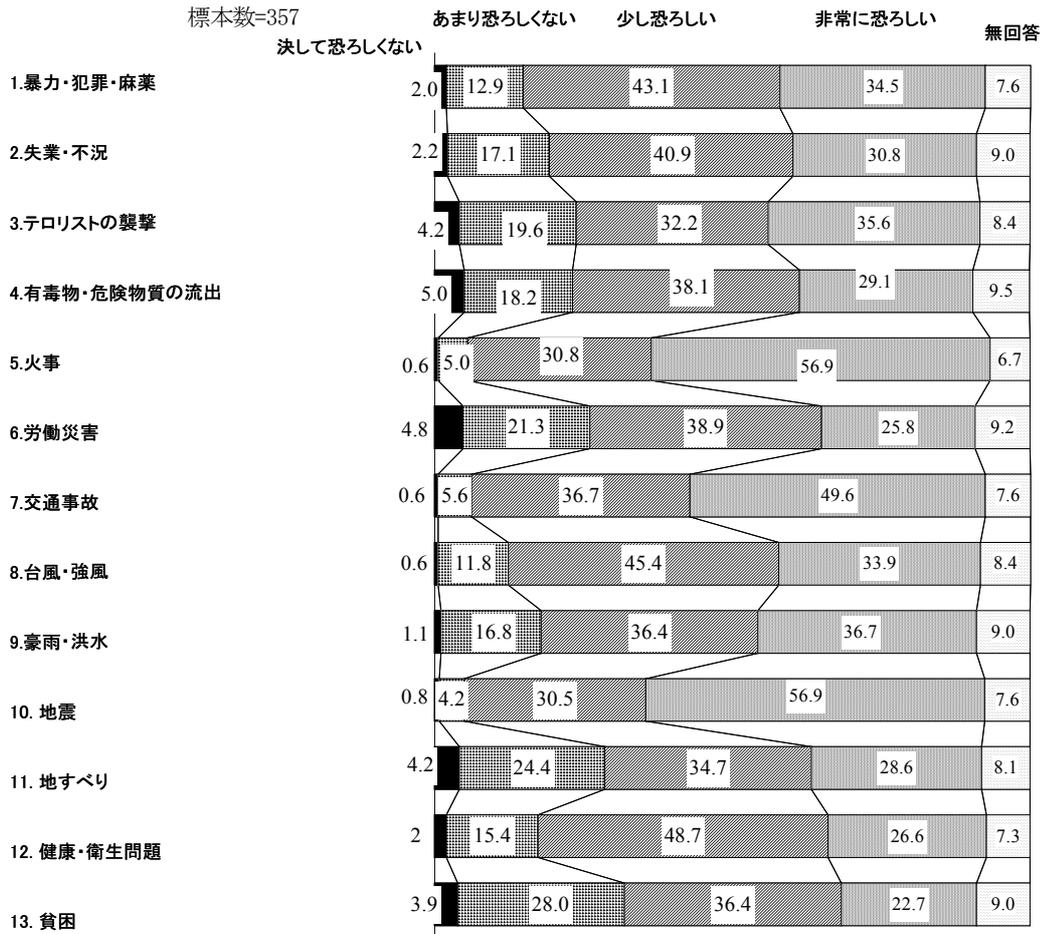
- ・ 回答者全員 (n=357) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“家族の生命と健康に関する被害の予測”の程度を4段階で尋ねた。
- ・ その結果、「非常に大きな被害が生じる」として、最も多くの人があげたのは「10. 地震」(39.2%)、次いで「7. 交通事故」(36.1%)、「5. 火事」(35.9%)である。
- ・ 「非常に大きな被害が生じる」と「生じるかもしれない」を合わせてみると (<可能性がある>)、最も多かったのは「10. 地震」(86.5%)、次いで「7. 交通事故」(85.4%)、「5. 火事」(82.4%)が続く。

(C) ご家族に及ぼす経済的被害の程度



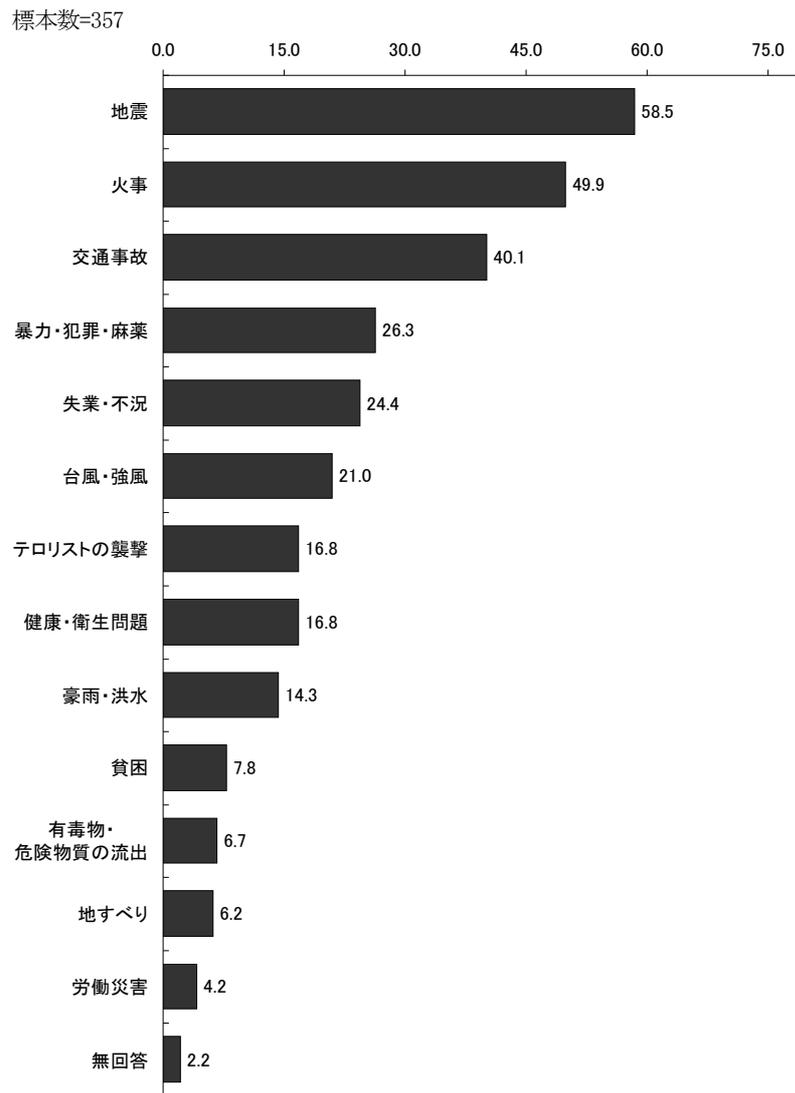
- ・ 回答者全員 (n=357) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“家族に及ぼす経済的被害の予測”程度を4段階で尋ねた。
- ・ その結果、「非常に大きな被害が生じる」として、最も多くの方があげたのは「5. 火事」(42.9%)、次いで「10. 地震」(41.5%)である。
- ・ 「非常に大きな被害が生じる」と「生じるかもしれない」を合わせてみると (<可能性がある>)、最も多かったのは「10. 地震」(86.3%)、次いで「7. 交通事故」(82.4%)、「5. 火事」(81.7%)が続く。
- ・ 性×年齢別で見ると、「男性30代」で「2. 失業・不況」が「非常に大きな被害が生じる」で68.8%などのように世代的な特徴が見られる。(データ編Q1-C参照)

(D) 恐ろしさの程度



- ・ 回答者全員 (n=357) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13をあげ、それぞれについて“恐ろしさ”の程度を4段階で尋ねた。
- ・ その結果、「非常に恐ろしい」として、最も多くの方があげたのは「5. 火事」及び「10. 地震」(同率56.9%)、次いで「7. 交通事故」(49.6%)である。
- ・ 「非常に恐ろしい」と「少し恐ろしい」を合わせてみると (<恐ろしい>)、最も多かったのは「10. 地震」(87.4%)、次いで「7. 交通事故」(86.3%)、「5. 火事」(81.7%)が続く。

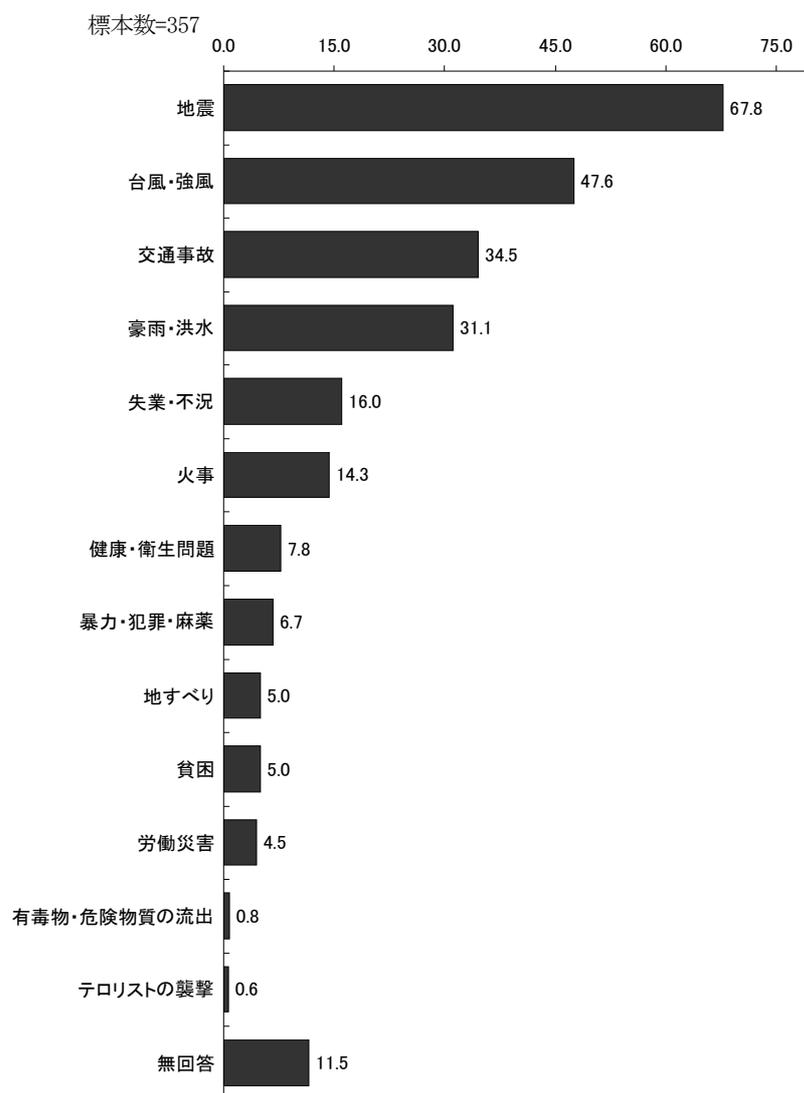
2. 上記1. の危険の種類の中で、最も恐ろしい3つは何ですか。番号をご記入ください。



- ・さらに回答者全員 (n=357) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13について最も“恐ろしい”項目を3つまで選んでもらった(3LA)。
- ・その結果、「非常に恐ろしい」として、最も多くの人があげたのは「地震」(58.5%)、次いで「火事」(49.9%)、「交通事故」(40.1%)が続く。
- ・性×年齢別で見ると、1位にあがった項目は下表のように異なる。
- ・1位にあがった項目は、男性では年代により異なるが、女性ではすべての年代で「地震」である。

男性	20代	地震(53.6%)	女性	20代	地震(62.1%)
	30代	交通事故(43.8%)		30代	地震(73.3%)
	40代	失業・不況(55.0%)		40代	地震(60.0%)
	50代	地震(48.7%)		50代	地震(65.2%)
	60代	地震(66.7%)		60代	地震(64.7%)
	70以上	火事(61.1%)		70以上	地震(63.0%)

3. 上記1. の1) から13) の中で過去にあなたが個人的に経験したのはどれですか。該当するものの番号をすべてお書きください。



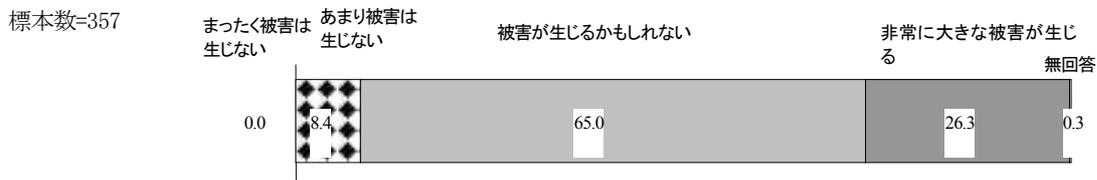
- ・回答者全員 (n=357) に、自然災害もしくは人為的災害の危機項目13のうち自分で体験した項目をあげてもらった(MA)。
- ・その結果、最も多くの人があげたのは「地震」(67.8%)、次いで「台風・強風」(47.6%)、「交通事故」(34.5%)が続く。

4. 2001年3月の芸予地震と同じか、それよりも揺れの大きい地震に呉市は今後みまわれると思いますか。また、もし地震が起きた場合、あなたのお住まいの地域への影響はどのようなものでしょうか。(A) から (D) のそれぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つずつ選んで○をつけてください。

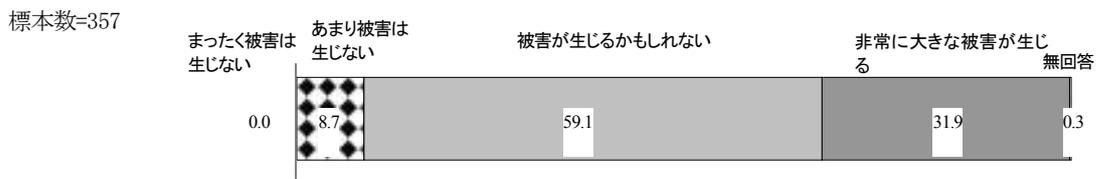
(A) 起こる可能性



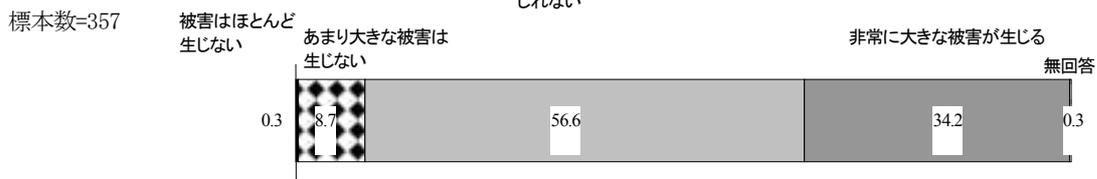
(B) ご家族の命と健康に及ぼす被害の程度



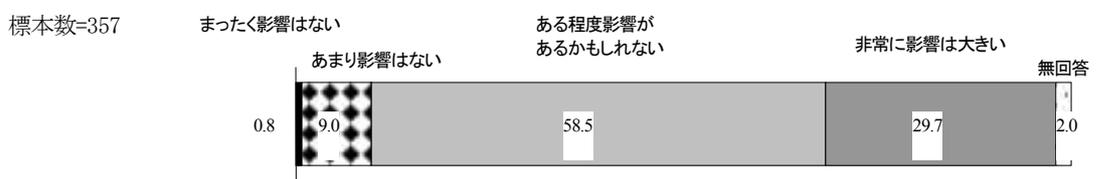
(C) ご家族に及ぼす経済的被害の程度



(D) 家屋への被害



(E) ご近所や地域の活動に与える影響



- ・ 回答者全員 (n=357) に、呉市に芸予地震と同等もしくは大きな地震が今後起こると思うかどうか可能性や被害予測を5項目についてそれぞれ尋ねた。
- ・ その結果、「(A) 起きる可能性」は「非常に大きい」が24.1%、次いで「(B) 命と健康への被害」が「非常に大きな被害が生じる」が26.3%、「(C) 経済的被害」は「非常に大きな被害が生じる」が31.9%、「(D) 家屋被害」は「非常に大きな被害が生じる」が34.2%、「地域の活動」は「非常に影響は大きい」が29.7%という結果になった。

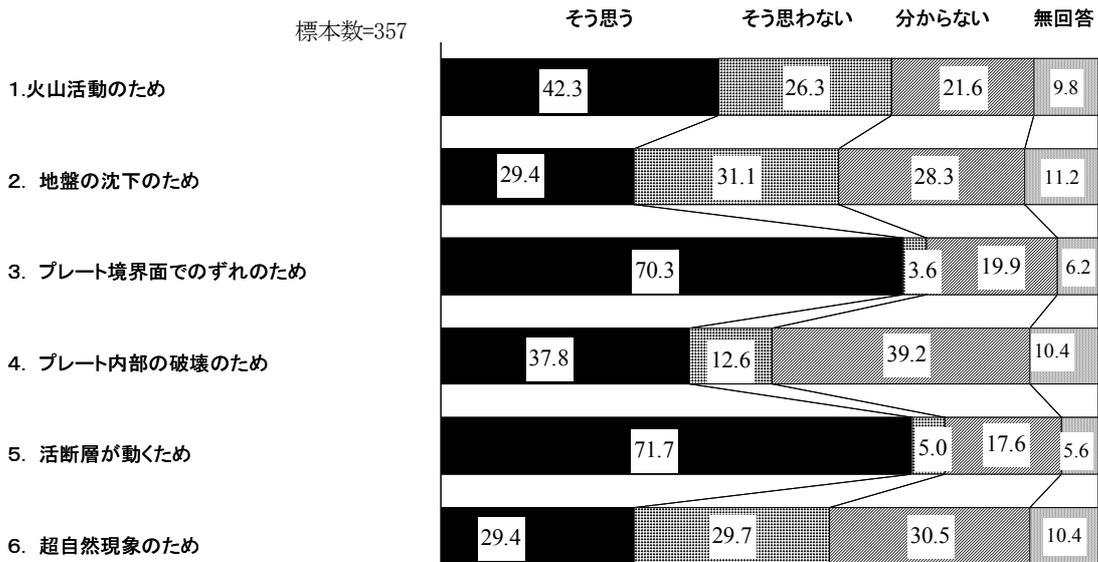
2. 地震に関する知識についてのまとめ

該当：Q5～Q10

- Q5. 地震が発生する原因 → 「活断層が動くため」(71.7%)、「プレート境界面でのずれのため」(70.3%)
- Q6. → 住まいの近くにある活断層等を知っている人は20%
- Q7. → 具体的に答えられた人は1割に満たない。
- Q8. → 震源情報源は「テレビ」(89.4%)
- Q9. → 地震が起こす事象については過半数が知っている。
- Q10. → 呉市に近い地震には66.1%が「恐怖を感じる」。

・呉市民は、地震の原因や地震によって生じる事象についてはかなりの人が知っているが、具体的に住まいの近くに震源があることを知っている人は20%、具体的に地名をあげられる人は1割に満たない。

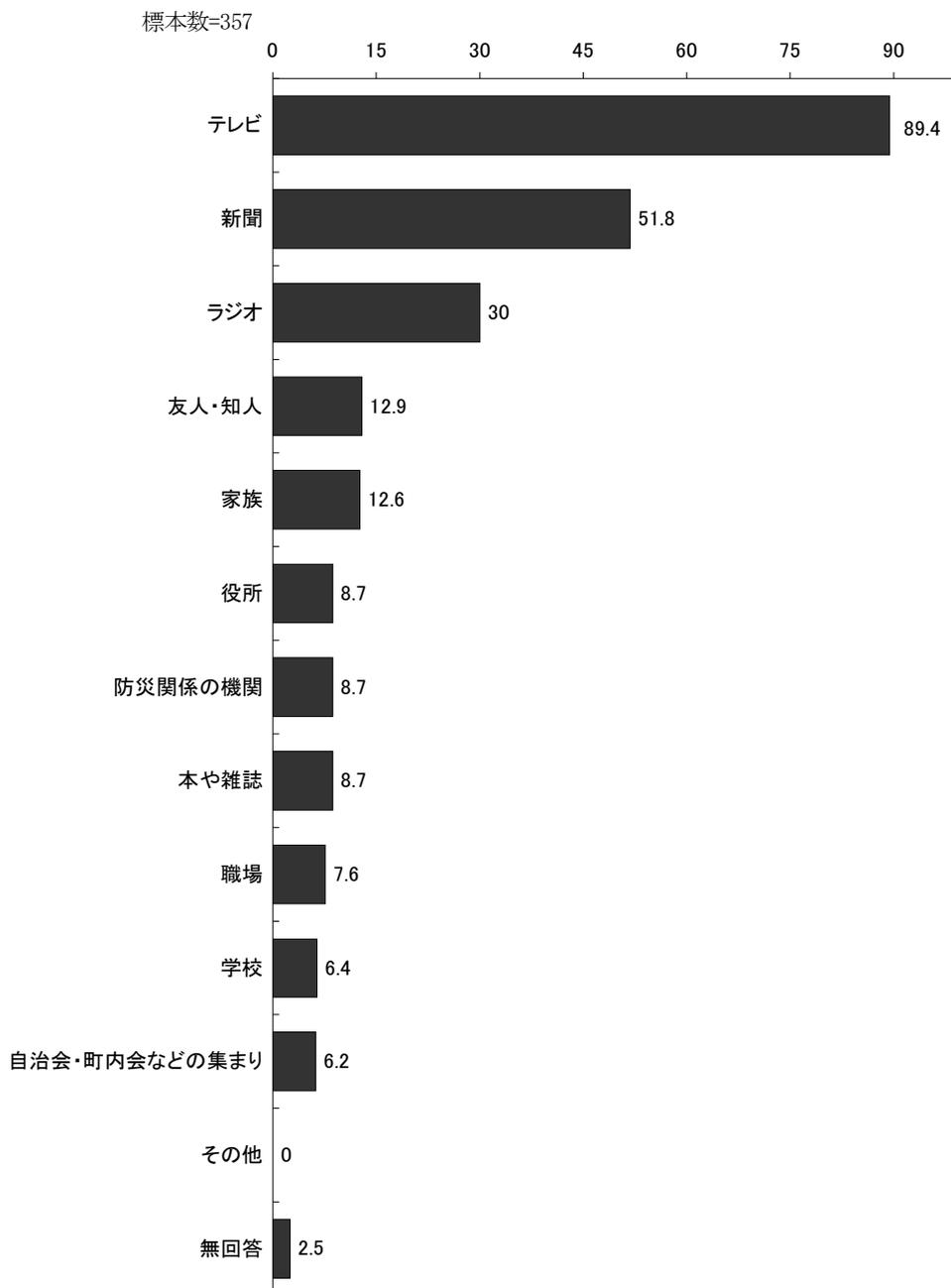
5. 地震が何故発生するのか、その原因について、あなたのお考えに最もあてはまると思う回答に○をつけてください。



- ・ 回答者全員 (n=357) に、地震の原因と思われる事象 6 項目をあげ、それぞれについて原因となりうると思うかどうか尋ねた。
- ・ その結果、最も多くの方が「そう思う」と考えたのは「5. 活断層が動くため」(71.7%)、次に「3. プレート境界面でのずれのため」(70.3%)である。

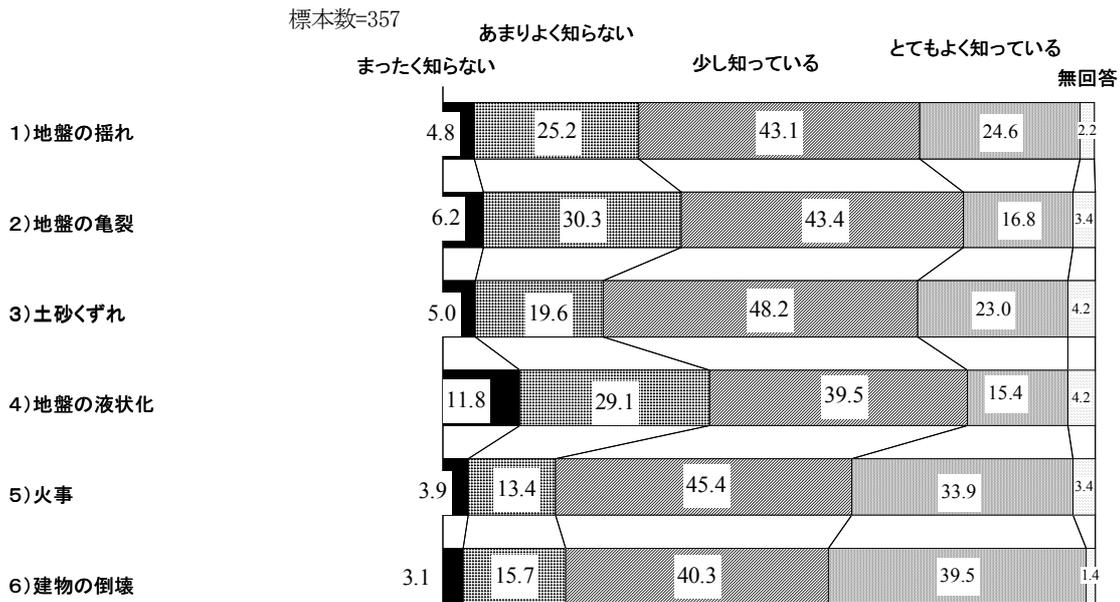
8. あなたのお住まいの地域に影響を及ぼす地震に関する情報原についてお伺いします。

どのようにして震源の情報を知りましたか。以下の情報媒体について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



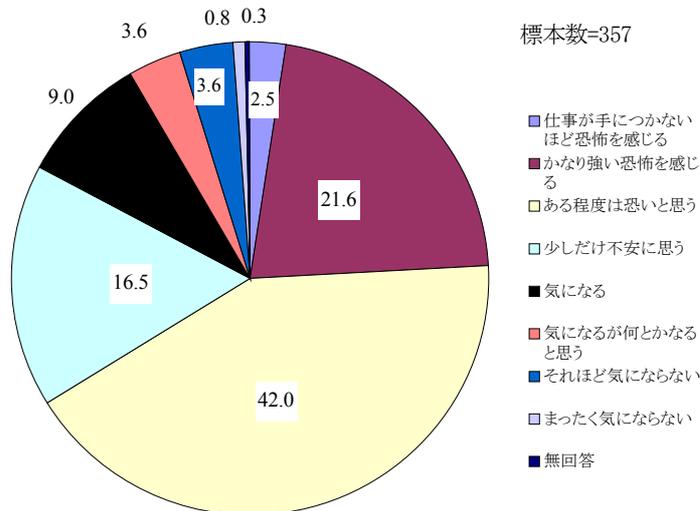
- ・回答者全員 (n=357) に、震源情報の情報源を尋ねた (MA)。最も多くの人があげたのは「テレビ」(89.4%)、次いで「新聞」(51.8%)、「ラジオ」(30.0%)である。

9. 大きな地震がもたらす危険について、どの程度ご存じですか。それぞれの項目についてあてはまる数字を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員 (n=357) に、地震に伴う事象 6 項目をあげ、それぞれについて知識程度を尋ねた。その結果、6 事象ともに「とても知っている」と「少し知っている」を合わせると過半数を超えた。「とてもよく知っている」と答えた人が最も多かったのは 6) 「建物の倒壊」(39.5%) である。

10. 大きな被害を呉市にもたらすと予測される複数の地震源が存在しています。このことについて、あなたはどうお感じになりますか。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員 (n=357) に、地震源の存在に対する恐怖感の程度を尋ねた。その結果「仕事を手につかないほど恐怖を感じる」人は 2.5%、「かなり強い恐怖を感じる」が 21.6%、「ある程度は怖いと思う」が 42.0% なので、<恐怖を感じる>人は 66.1% と約 3 分の 2 をしめた。また <気にならない> という人は 4.4% に過ぎず、95.3% と大半の人が <怖い・気になる> と答えた。

3. 地震に対するそなえについてのまとめ

該当：Q11～Q16

Q11. 行政の「備え」 → 税金が高くなならない範囲内で進めるべき (47.1%)

Q12. 家庭内の「備え」 → 大切だとは思いますが一概には言えない (50.1%)

Q13. 呉市に起こる可能性 → 60%を超えるのは「20年以内」(67.5%)

地震がもし起こったら

Q15. 昼間なら、1位「逃げる」・2位「火の始末」
夜間なら、1位「逃げる」・2位「家族の安否確認」

Q16. すでに行った「備え」は → 「避難場所を調べた」(39.5%)

- ・呉市民の「備え」に対する意識は留保付きの「進める」。
- ・地震が起きる可能性は「20年以内」である。
- ・地震がもし起こったら、昼夜間問わず「逃げる」ことで、そのため「避難場所を調べた」人が4割近い。

11. 地震や水害などの災害に対して、行政が税金を使って備えをすすめることについて、あなたはどうかお考えになりますか。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

n=357

- | | |
|---------------------------------------|------|
| 1) たとえ税金が高くなっても、防災対策を積極的に進めるべきだ。 | 7.6 |
| 2) 多少なら税金が高くなっても、防災対策を進めるべきだ。 | 24.9 |
| 3) 税金が高くない範囲内で、防災対策を進めるべきだ。 | 47.1 |
| 4) 防災対策をこれ以上進めるべきか、そうでないかは一概には決められない。 | 17.1 |
| 5) 税金は他のことに使い、防災対策は現状程度でかまわない。 | 1.7 |
| 6) 税金は他のことに使い、防災対策は現状よりも下回ってかまわない。 | 0.0 |
| 7) 税金が高くなるなら、防災対策は進めなくてもよい。 | 0.3 |
| 無回答 | 1.4 |

・回答者全員(n=357)に、「行政の防災対策」を税金（コスト）の側面から意見を尋ねた。その結果「たとえ高くなっても進めるべきだ」と答えた人は7.6%、「多少なら高くなっても進めるべきだ」が24.9%なので<税金が高くなっても進めるべきだ>は32.5%、「高くない範囲で進めるべきだ」が47.1%なので、<進めるべきだ>と答えた人は79.6%と約8割をしめた。また<税金は他のことに使う>という人は2.0%に過ぎない。

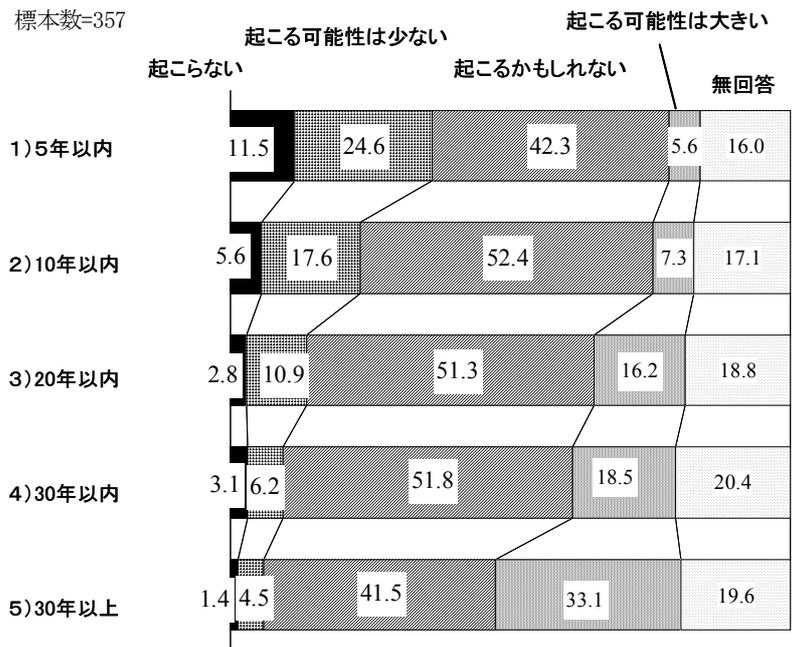
12. 地震や水害などの災害に対して、あなたやあなたのご家族が備えを行うことについて、あなたはどうかお考えになりますか。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

n=357

- | | |
|--|------|
| 1) かなりの時間やお金をかけても、災害への備えを積極的に心がけることは、大変良いことだ。 | 4.8 |
| 2) ある程度の時間やお金はかけて、災害への備えを心がけることは良いことだ。 | 27.2 |
| 3) 災害への備えが大切だとは思いますが、具体的にどの程度のことをすれば良いかは一概に言えない。 | 50.1 |
| 4) 人生には他にもさまざまに取り組むべきことがあり、災害への備えだけを考えて暮らしているわけではない。 | 11.5 |
| 5) 災害への備えよりもはるかに重要な関心事があり、災害への備えの関心は低い。 | 3.1 |
| 6) 災害への備えよりもはるかに重要な関心事があり、災害ばかりを強調して暮らしていくことには抵抗がある。 | 1.4 |
| 7) 災害への備えよりもはるかに重要な関心事があり、はっきり言って災害ばかりを強調することには反感を感じる。 | 0.3 |
| 無回答 | 1.7 |

・回答者全員(n=357)に、「家庭の備え」を出費（コスト）の側面から意見を尋ねた。その結果「かなりかけても」と答えた人は4.8%、「ある程度」が27.2%なので<お金や時間をかけても>と答えた人は32.0%である。また<備えへの関心は低い・抵抗がある>という人は4.8%に過ぎない。

13. 呉市が大きな地震災害を受ける可能性は今後どの程度あるとお考えですか。それぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員(n=357)に、呉市が再び大きな地震災害に見舞われる可能性を年数ごとに尋ねた。その結果、「起こる可能性は大きい」が30%を超えるのは「30年以上」(33.1%)で「起こる可能性は大きい」と「起こるかもしれない」を合わせた<可能性がある>が60%を越えるのは「20年以内」(67.5%)である。

14. もし強い地震が昼間に起きたら、あなたはどんな行動や反応をしますか。あなたがするであろう行動や反応をご自由にお書きください。

n=357(回答あり286)

多い順 逃げる・安全な場所に避難する 121
 火の始末(ガス。電気・車のエンジンを切る) 106
 家族の安否確認 78
 机・テーブルの下にもぐる(隠れる) 60
 情報収集(テレビ・ラジオをつける) 28 何もできないだろう 22

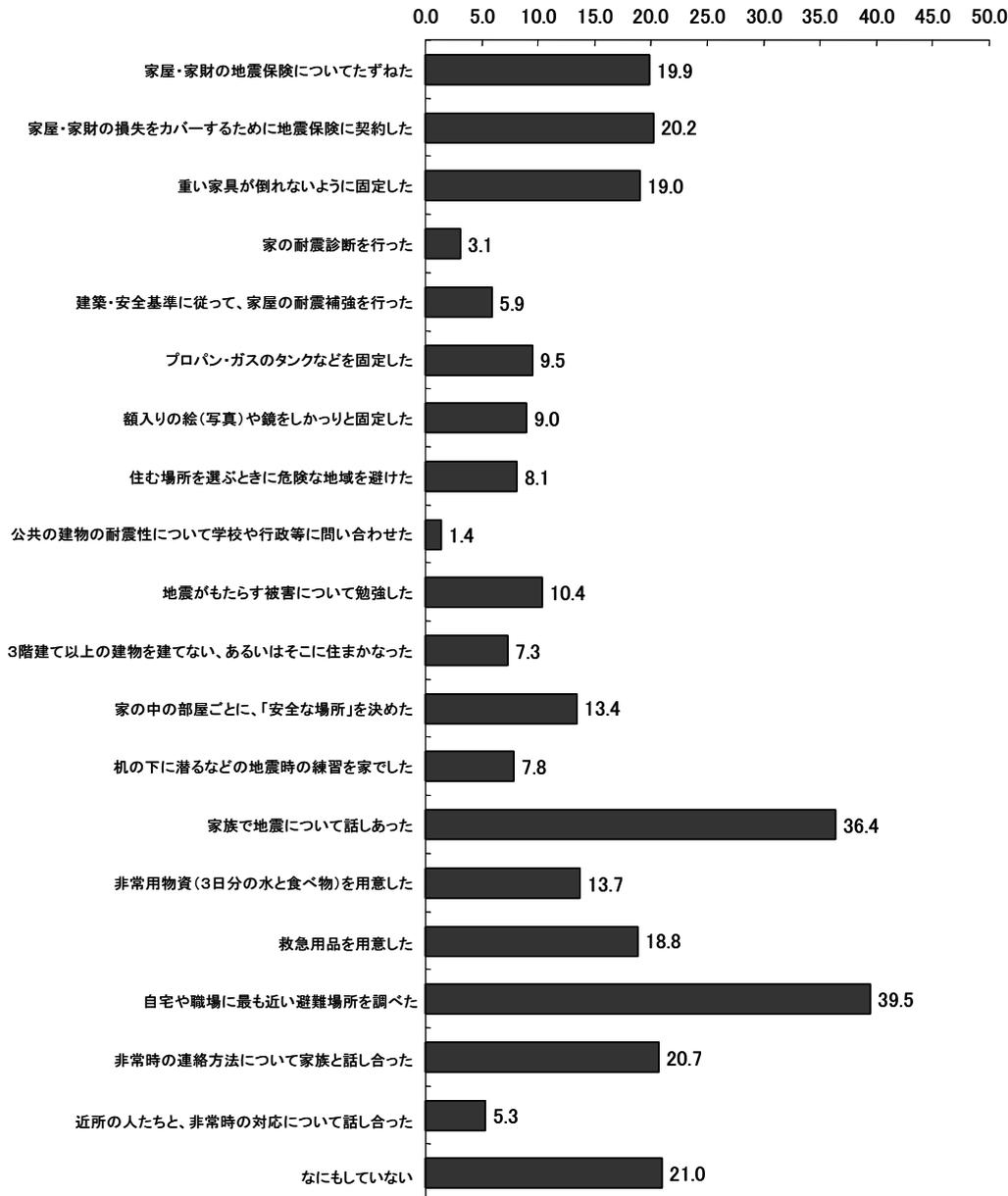
15. もし強い地震が夜間に起きたら、あなたはどんな行動や反応をしますか。あなたがするであろう行動や反応をご自由にお書きください。

n=357(回答あり280)

多い順 逃げる・安全な場所に避難する 101
 家族の安否確認 63
 火の始末(ガス。電気・車のエンジンを切る) 43
 机・テーブルの下にもぐる(隠れる) 42
 懐中電灯を探す 39
 情報収集(テレビ・ラジオをつける) 39 何もできないだろう 30

16. 次に挙げるのは、強い地震によって起こり得る被害を回避したり、軽減するために、あなたが取りうる対策のリストです。全部で20の項目をあげていますが、これらのなかであなたがすでに実施したものはどれですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

標本数=357



- ・ 回答者全員 (n=357：全員呉市民) に、地震に備えてすでに行った「そなえ」を20項目の中からあげてもらった (MA)。
- ・ その結果、最も多くの人があげたのは「自宅や職場に最も近い避難場所を調べた」(39.5%)、次いで「家族で地震について話し合った」(36.4%)が続く。

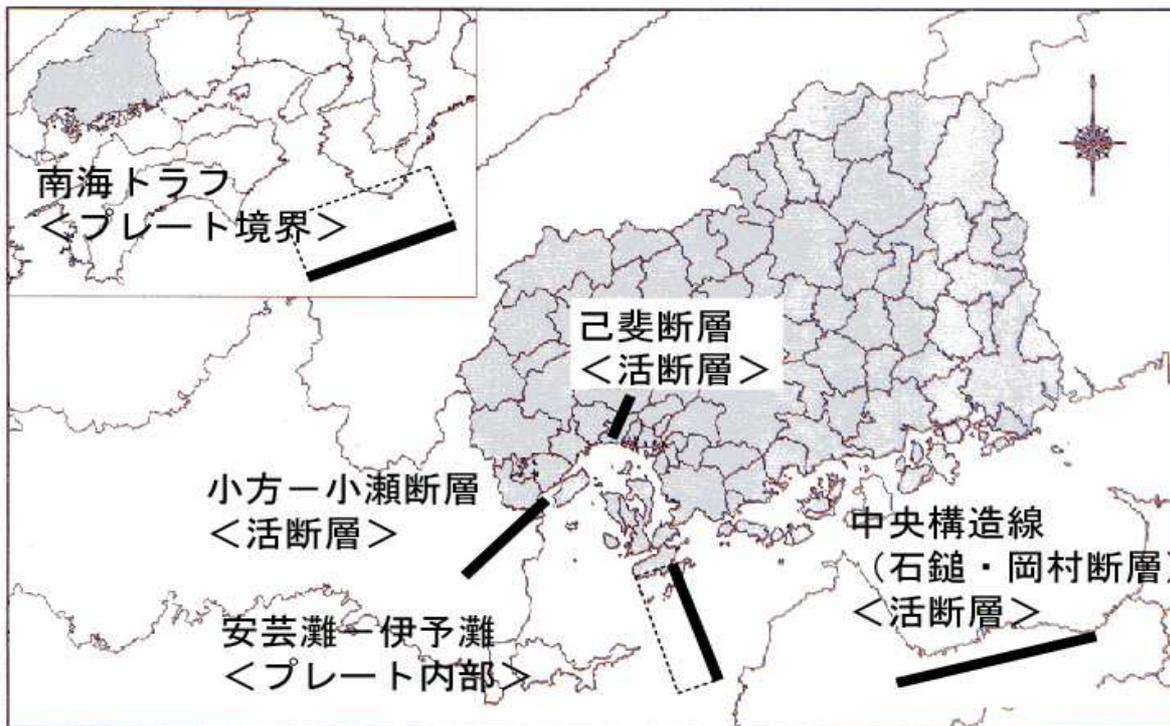
<参考資料：呉市における地震・津波による被害想定>

呉市に影響を及ぼす可能性のある地震の震源と予想される震度は以下の通りです。

2000年芸予地震（M6.7）の際の呉市の震度は震度5強であり、死者1名、重傷者12名、住家の壊58棟、半壊261棟という大きな被害が発生しました。明治38年の芸予地震（M7.3）では、呉市で死者6名、家屋倒壊5棟という被害が発生したといわれています

また、南海トラフを震源とする地震が発生すると呉市は大きな津波に襲われる事が予想されています。

地震の震源	地震規模	震度(呉市)
安芸灘－伊予灘	M7.25	震度5弱-6弱
己斐断層	M6.5	震度4強-6弱
小方－小瀬断層	M7.2	震度5弱-6強
中央構造線(石鎚・岡村断層)	M7.9	震度5弱-6強
南海トラフ	M8.4	震度4弱-5弱



想定地震源位置図

震源位置図

4. 資料提示後の被害想定についてのまとめ

該当：Q17～Q19

<活断層の位置や震度想定を提示した後で改めて質問した>

Q17. 呉市に起こる可能性

→ (Q13との比較) 6割を超えるのはやはり「20年以内」(67.7%)

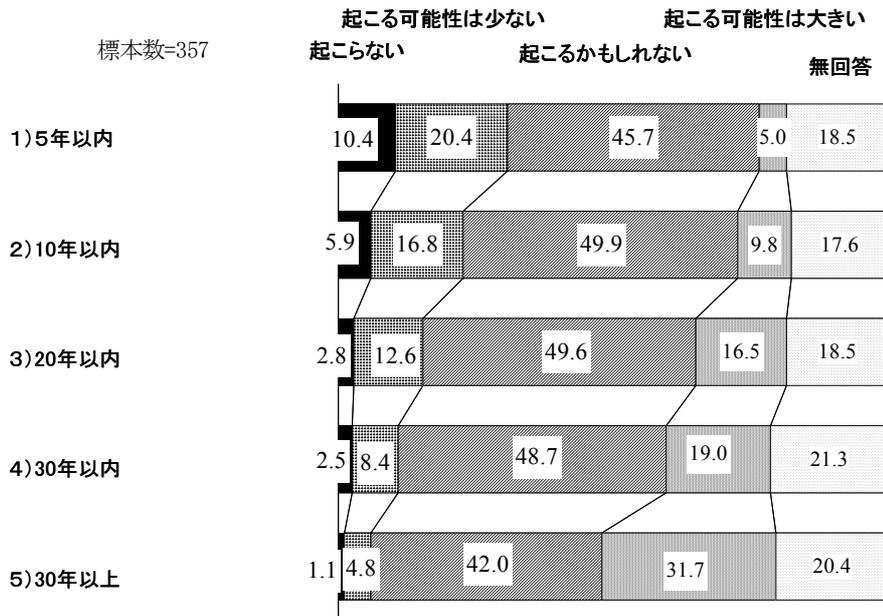
Q18. 起こる可能性・被害予想

→ (Q4と比較すると) かえって、やや楽観的になる。

Q19. これからの「備え」 → (Q16と比較)「重い家具が倒れないよう固定する」(44.3%)

・活断層の位置や震度予想などを提示すると、意識態度はやや楽観的になる傾向が見られる。

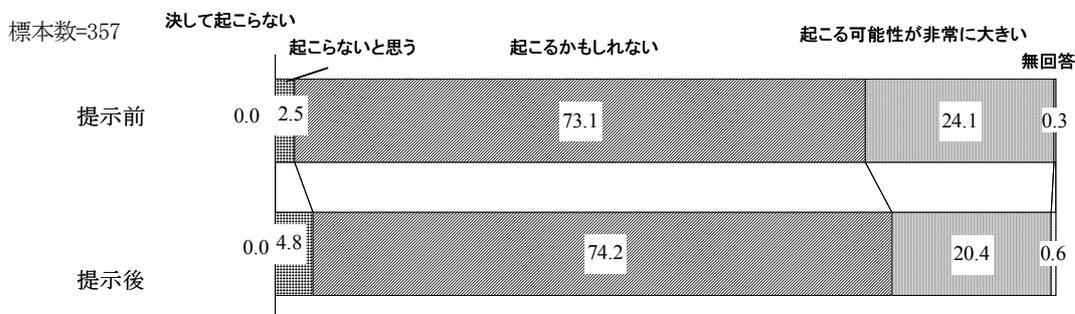
17. 呉市が大きな地震災害に見舞われる可能性は今後どの程度あるとお考えですか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



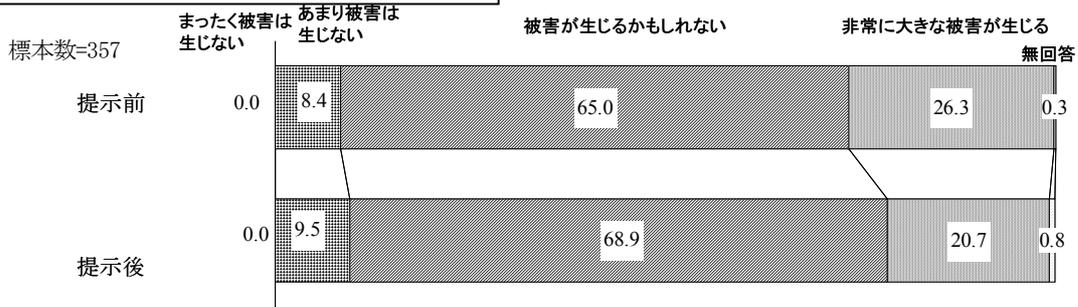
・ 呉市近辺の活断層や震度規模の予想を提示した後で改めて回答者全員 (n=357) に、呉市が再び大きな地震災害に見舞われる可能性を年数ごとに尋ねた。その結果、「起こる可能性は大きい」が30%を超えるのはQ13と同じ「30年以上」(31.7%)で「起こる可能性は大きい」と「起こるかもしれない」を合わせた可能性が60%を超えるのも「20年以内」(67.7%)で、大きな変化は見られない。

18. 2001年3月の芸予地震と同じか、それよりも揺れの大きい地震がここ呉市に近い場所で起きると思いますか。また、もし起きた場合、あなたのお住まいの地域への影響はどのようなものでしょうか。(A) から (D) のそれぞれの設問について、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つずつ選んで○をつけてください。

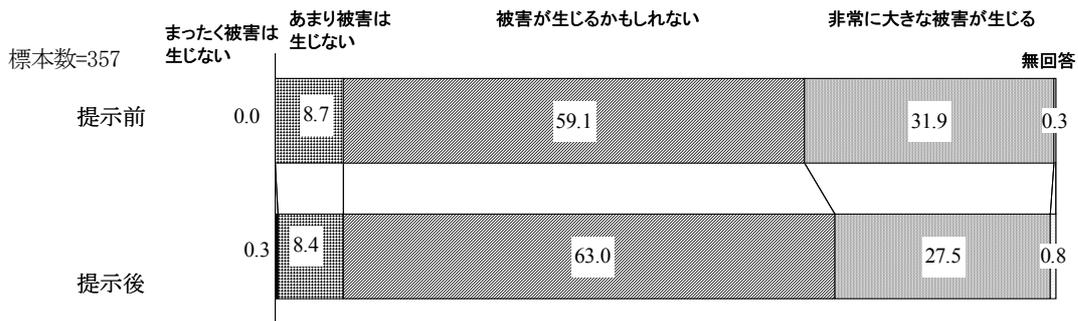
(A) 起こる可能性



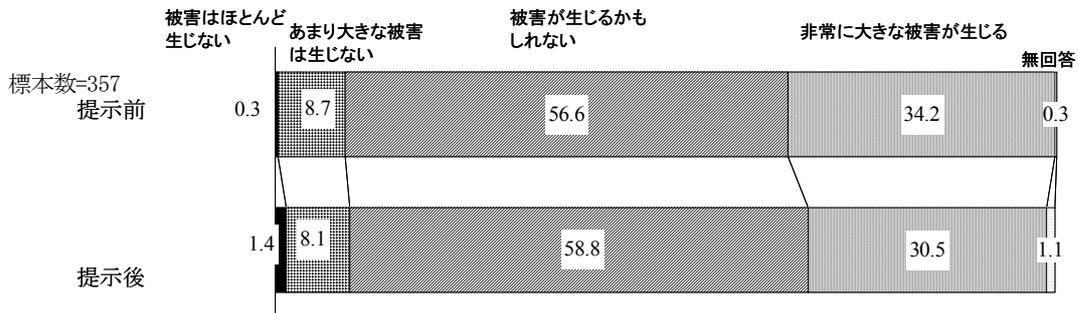
(B) ご家族の命と健康に及ぼす被害の程度



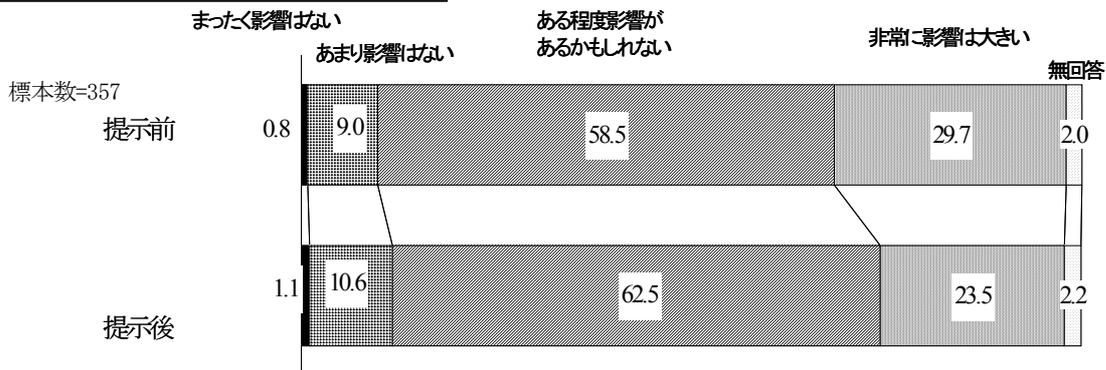
(C) ご家族に及ぼす経済的被害の程度



(D) 家屋への被害

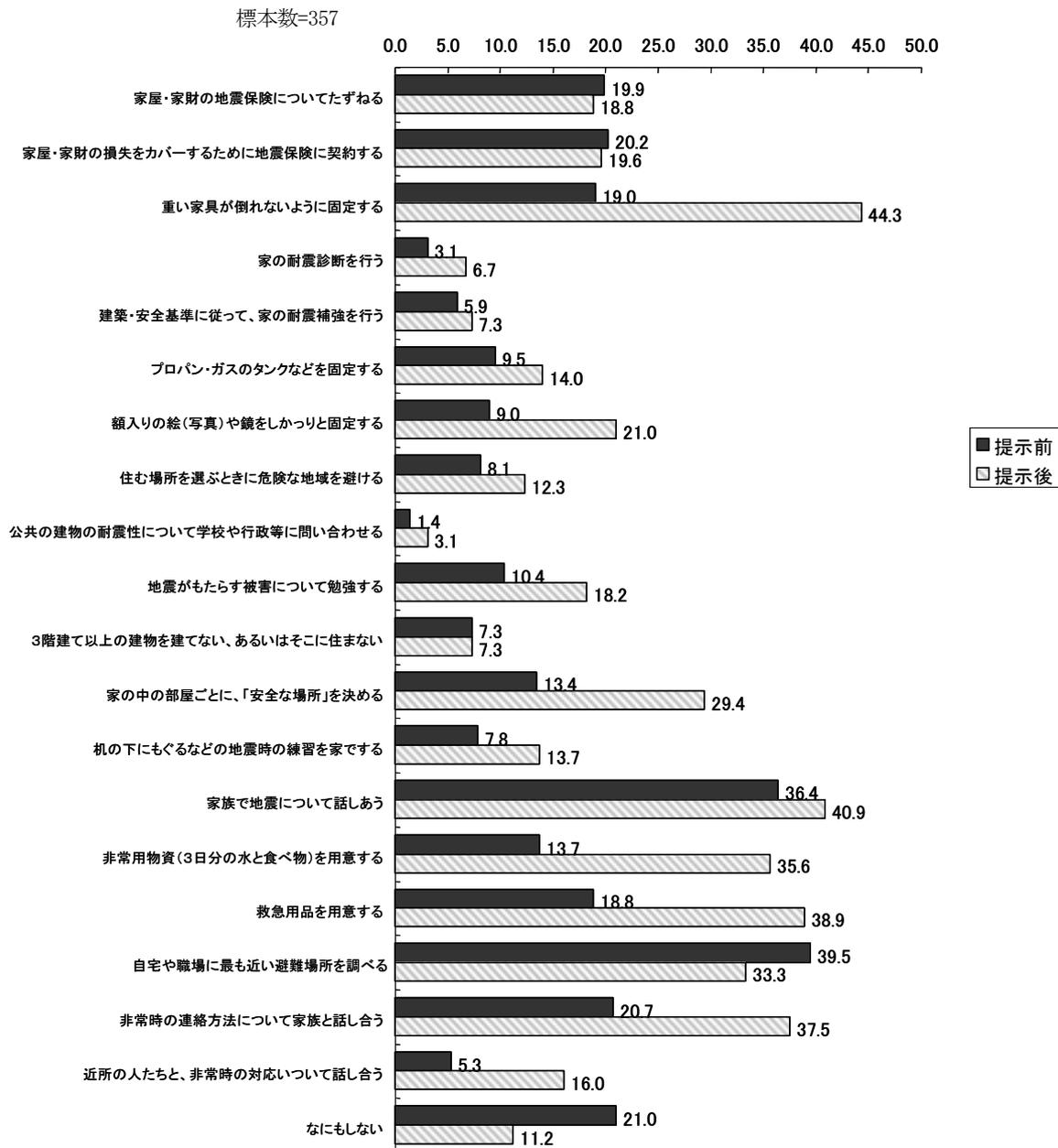


(E) ご近所や地域の活動に与える影響



- ・改めて回答者全員(n=357)に、呉市に芸予地震と同等もしくは大きな地震が今後起こると思うかどうか可能性や被害予測を5項目についてそれぞれ尋ねた。
- ・その結果、5項目とも「非常に大きい・非常に大きな被害が生じる」が6.2~3.7%少なくなった。また「かもしれない」を合わせても5項目とも0~1.9%やや少なくなった。

19. 次に挙げるのは、強い地震によって起こり得る被害を回避したり、軽減するために、あなたが取りうる対策のリストです。全部で20の項目をあげていますが、その中であなたは今後何をしようと思えますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



Q16 (すでにしたこと) との比較 (Q19はこれから使用と思うこと)

- ・回答者全員 (n=357: 全員呉市民) に、活断層図や震度想定を提示した後で、改めて地震に備えて行おうと思う「そなえ」を20項目の中からあげてもらった (MA)。
- ・その結果、最も多くの人があげたのは「重い家具が倒れないように固定する」(44.3%)、次いで「家族で地震について話し合う」(40.9%)が続く。
- ・Q16と比較すると、ほとんどの項目でしようと思う人が増えている。

5. 地震が起きたと想定したときの意識態度のまとめ

該当：Q20～Q26

Q20. 被害額の想定 → 想定額は一定しない。

Q21. 頼りになる組織・機関・個人 → 1位「家族・友人・親戚」(86.8%)
2位「隣近所の人」(59.4%)

Q22. 支援の予想 → 1位「家族・友人・親戚」(80.1%)
2位「隣近所の人」(66.1%)

Q23A. 機能が停止する施設 → 1位「電気」(77.0%)
2位「水道」(75.6%)
3位「電話」(73.9%)

Q24. 守るべき施設 → 1位「水道」(72.5%)
2位「電気」(60.8%)
3位「病院」(40.6%)

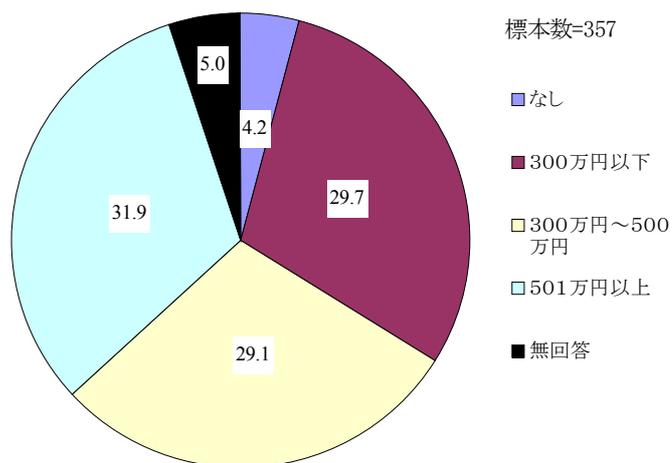
Q23B. 機能の継続が重要な施設 → 1位「水道」(84.9%)
2位「電気」(82.4%)
3位「病院」(78.2%)

Q25. 備えの為に出来る金額は143万円、時間は58.4時間、人手は5人。

Q26. 信頼しているのは「家族・友人・親戚」(64.4%)

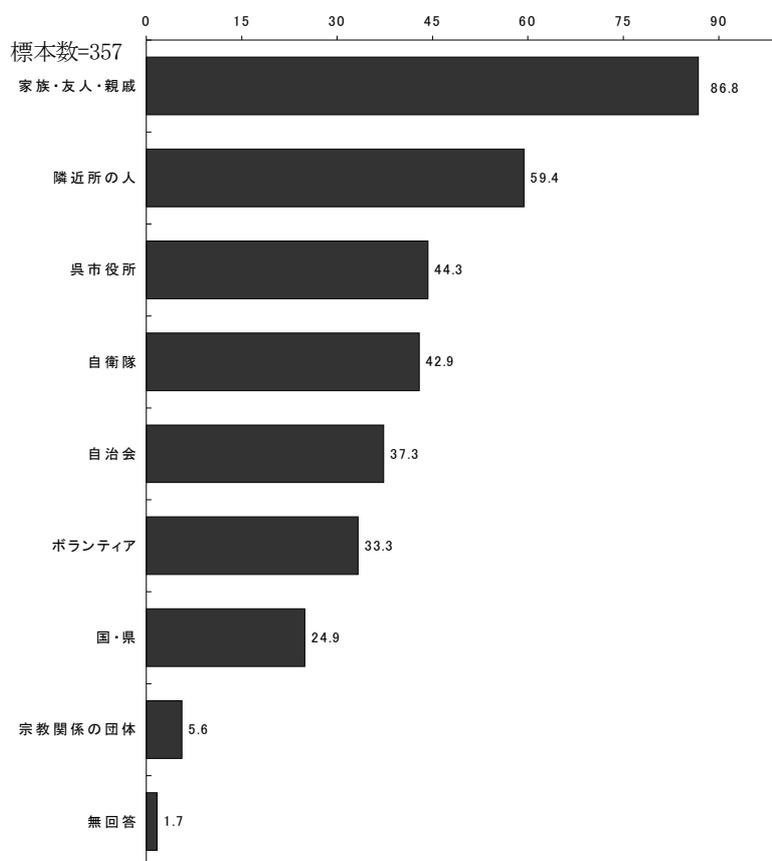
- ・ 支援者として予想かつ信頼しているのは「家族・友人・親戚」、「隣近所の人」。
- ・ 守るべき施設は、「水道」、「電気」、「病院」。

20. 呉市で強い地震が起こったら、あなたの家の被害額はおよそいくら位だと予想しますか。



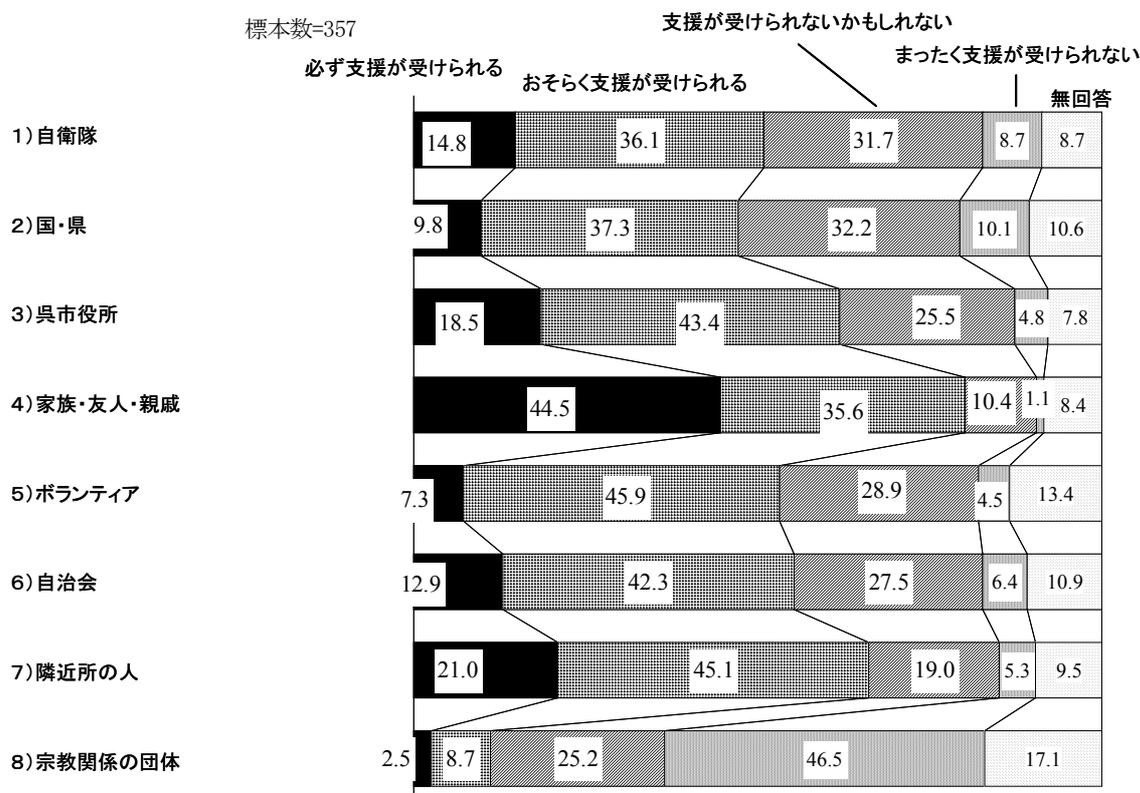
・回答者全員(n=357)に、地震が起こった場合の被害額を想定してもらった。その結果「501万円以上」が31.9%と最も多かったが、「300万円以下」が29.7%、「300～500万円」が29.1%と大きく3つに分かれた。

21. あなたのお考えでは、強い地震が起きたらどのような組織や機関、人びとがあなたを心配して救援に来てくれると思いますか。以下の1)から8)のうち、あなたを心配してくれると思う組織や機関ないし人びとすべてに○をつけて下さい。



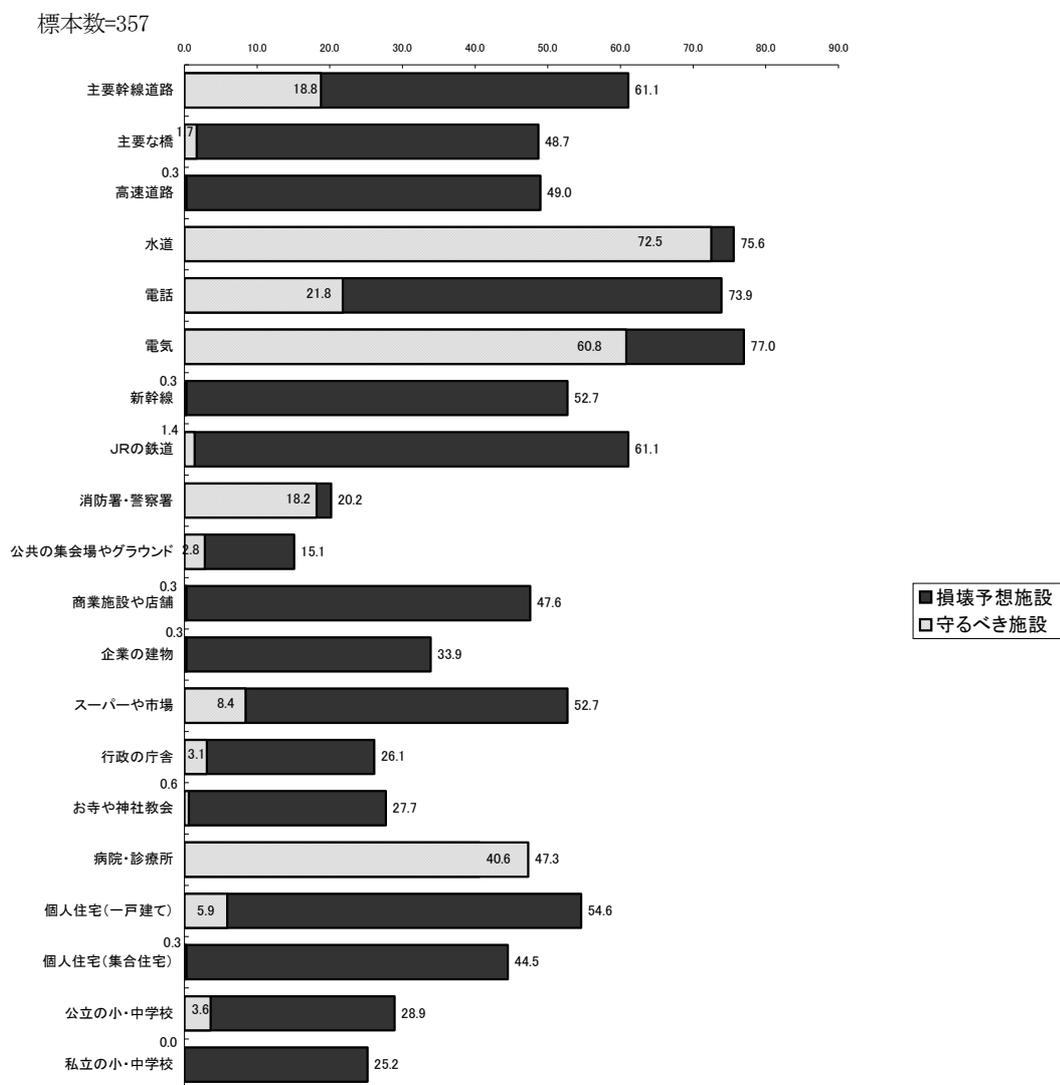
・回答者全員(n=357)に、地震が起こった場合の救援者を想定してもらった。その結果、最も多くの人があげたのは「家族・友人・親戚」(86.8%)、次に「隣近所の人」(59.4%)である。

22. 上記21. の1) から8) の組織・機関や人びとに救援を要請しても、法律上や社会的な理由から、実際には支援が受けられない可能性はどの程度あるとお考えですか。あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



- ・ 回答者全員 (n=357) に、救援者として支援が受けられないかもしれないと考えている組織・機関を8機関あげ、それぞれについて支援が受けられるかどうか尋ねた。
- ・ その結果、「まったく支援が受けられない」及び「支援が受けられないかもしれない」と予想した人が最も多かったのは8) 宗教関係の団体 (71.7%)、次に2) 「国・県」 (42.3%) である。
- ・ 逆に「必ず支援が受けられる」及び「おそらく支援が受けられる」と予想した人が最も多かったのは8) 「家族・友人・親戚」 (80.1%)、次いで7) 「隣・近所の人」 (66.1%)、3) 「呉市役所」 (61.9%) が続く。

23. 強い地震が起こるとさまざまな構造物・機能に被害が発生します。次の1)から24)それぞれの構造物や施設、機能などについて、
 (A) 強い地震で壊れ、機能が停止すると思う場合には、該当する項目の()欄に○をつけてください。
 24. 地震に際して守るべき最も重要な3つの施設・機能を、上記23.の1)～24)の中から選んで番号をお書きください。(3LA)

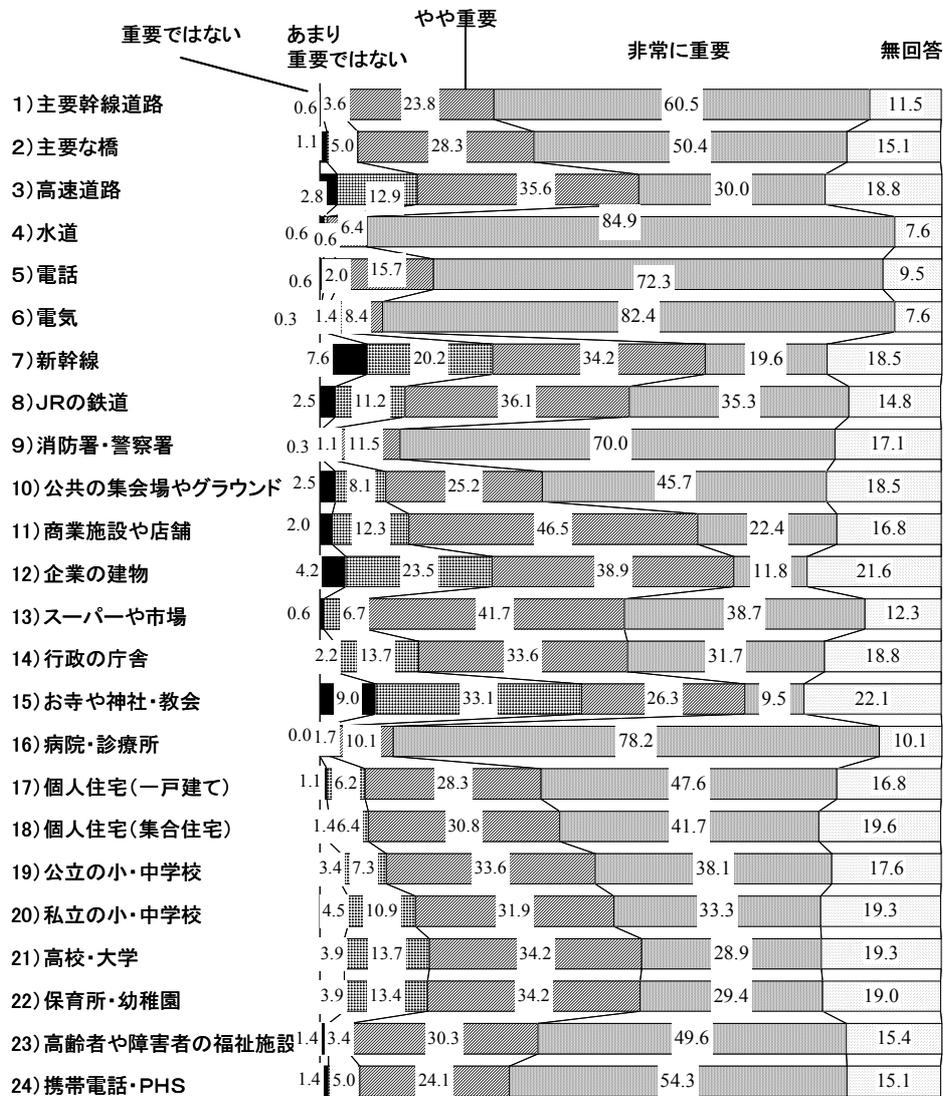


右側の数値及びグラフ(黒)がQ23-A、左側の数値及びグラフ(白)がQ24

- ・ Q23-A) 回答者全員 (n=357) に、24の構造物・機能をあげ、地震による機能停止が予想されるものをあげてもらった(MA)。その結果、最も多くの人があげたのは「電気」(77.0%)、「水道」(75.6%)、「電話」(73.9%)の順である。
- ・ Q24) この中から地震に際して守るべき施設・機能を3つまであげてもらった(3LA)。その結果、最も多くの人があげたのは「水道」(72.5%)、「電気」(60.8%)、「病院・診療所」(40.6%)の順である。

23. 強い地震が起こるとさまざまな構造物・機能に被害が発生します。次の1)から24)それぞれの構造物や施設、機能などについて、
 (B) それぞれの構造物や施設が、地震の後も壊れずに機能し続けることがどの程度重要か、あなたのお考えに最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。

標本数=357



- ・ Q23-B) 回答者全員 (n=357) に、24の構造物・機能のそれぞれに地震後も機能を続けることの重要性の程度を尋ねてみた。
- ・ その結果、最も多くの方が「非常に重要」にあげたのは「水道」(84.9%)、「電気」(82.4%)、「病院・診療所」(78.2%)の順である。

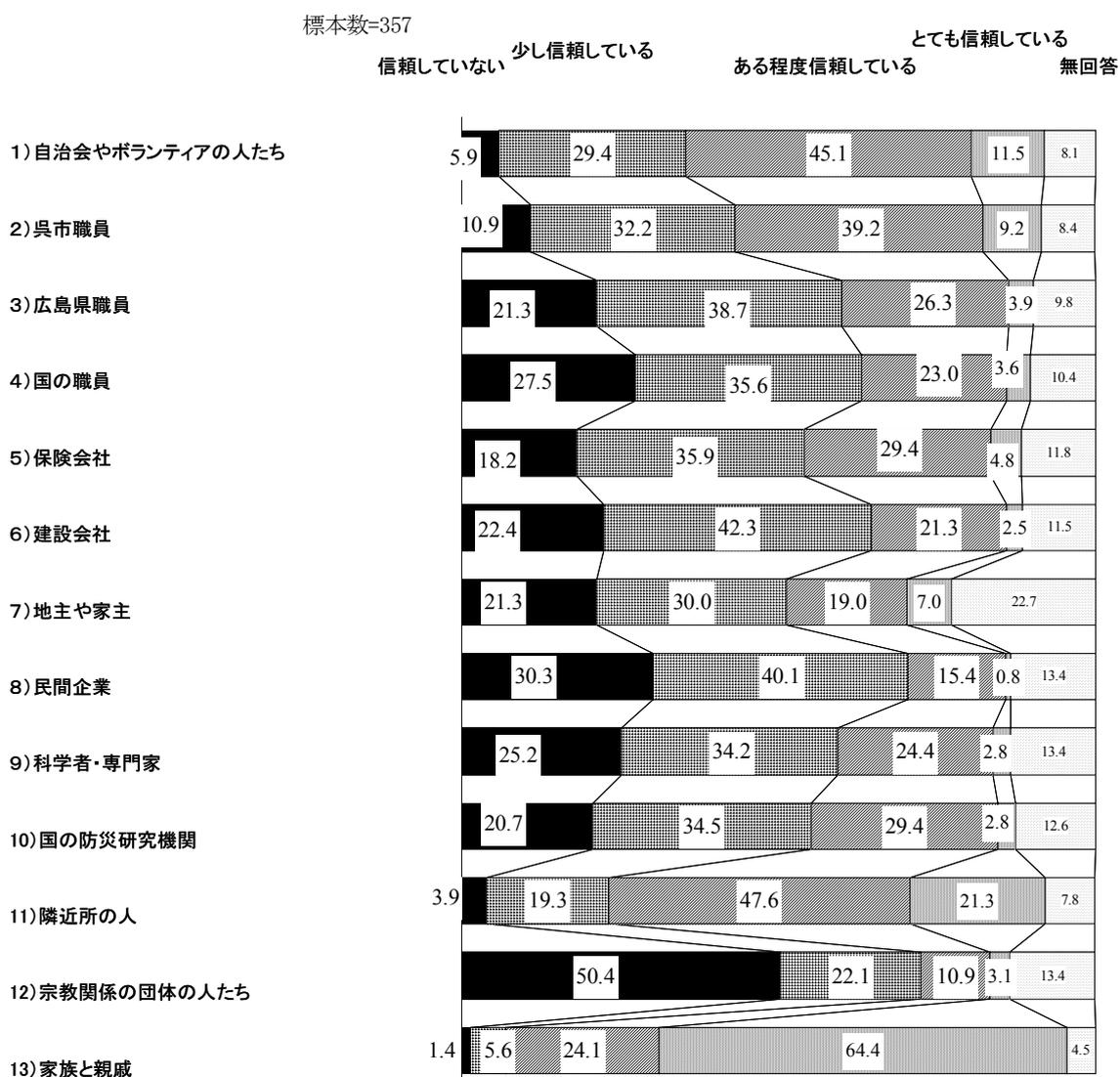
25. お住まいの耐震補強についてお尋ねします。

n=357

- ① あなたの家を耐震補強するために、いくらまでなら支出してもいいと思いますか。
(1,432,678.75) 円 回答数225
- ② あなたの家を耐震補強するために、ご自分の時間を何時間位までなら使いますか。
(58.44) 時間 回答数183
- ③ あなたの家を耐震補強するために、ご家族や知人の方を何人までなら頼めますか。
(5.05) 人 回答数 220

・回答者全員(n=357)に、耐震補強について、お金・時間・人手がどれくらい出せるか尋ねた。その結果、回答のあった人での平均をみると、お金では143万円 時間では58.4時間 頼める人手は5人であった。

26. 強い地震の被害（例えば火事、建物の倒壊）からあなたの地域社会（コミュニティ）を守ることに、あなたは次のそれぞれの集団の人びとをどの程度信頼していますか。それぞれ最もあてはまる数字を一つ選んで○をつけてください。



・回答者全員(n=357)に、13の集団や組織をあげて、それぞれへの信頼の程度を尋ねた。その結果、最も多くの方が「とても信頼している」としてあげたのは「家族・友人・親戚」(64.4%)、次に「隣近所の人」(21.3%)である。

6. 地域・つながり等に関するまとめ

該当：Q27～Q31

Q27. 近所づきあい → 挨拶14.09人、会話6.79人、相互訪問4.16人。

Q28. まちにあるもの → 地域の行事 (77.6%)

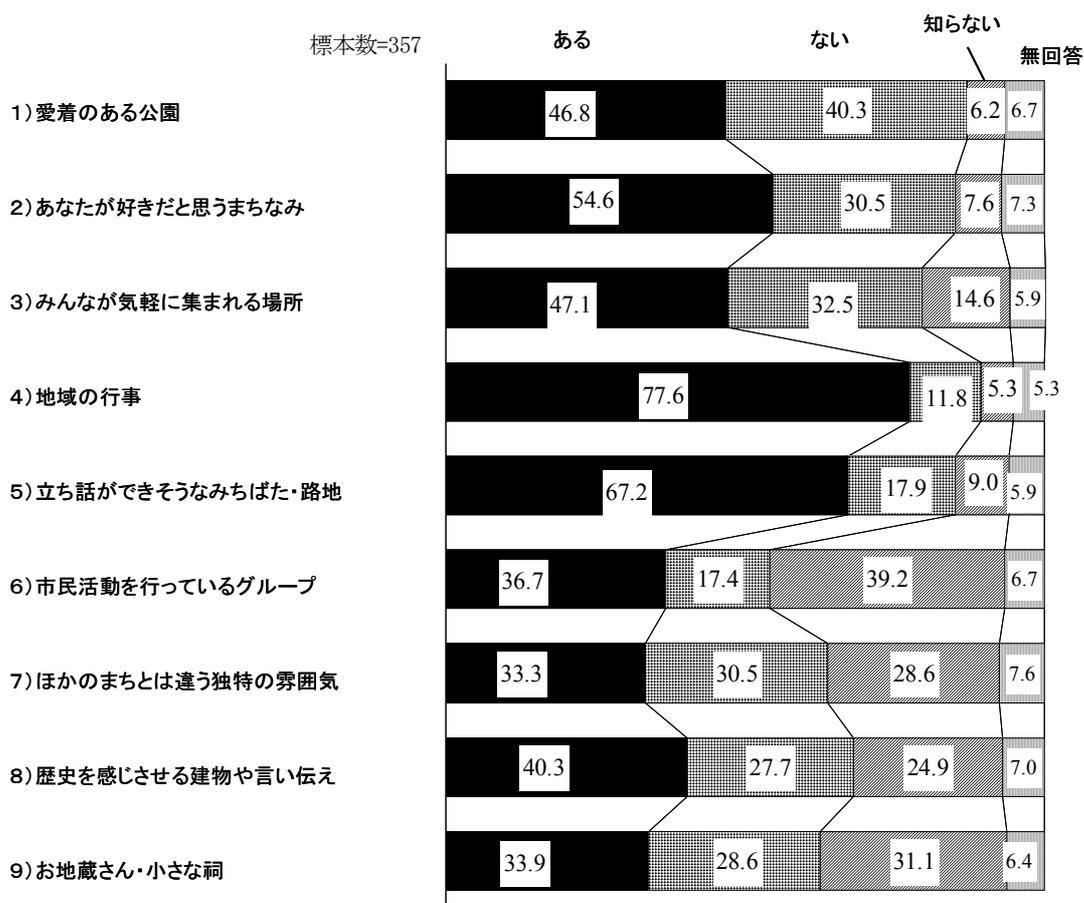
27. あなたとあなたのご近所の人たちとの関係についてお答えください。

n=357

	平均	回答数
① あなたが普段、挨拶するのはおよそ何人ですか。	(14.09) 人	313
② あなたが道端で話をするのはおよそ何人ですか。	(6.79) 人	314
③ あなたが互いの家を行き来するご近所づきあいのある人はおよそ何人ですか。	(4.16) 人	316

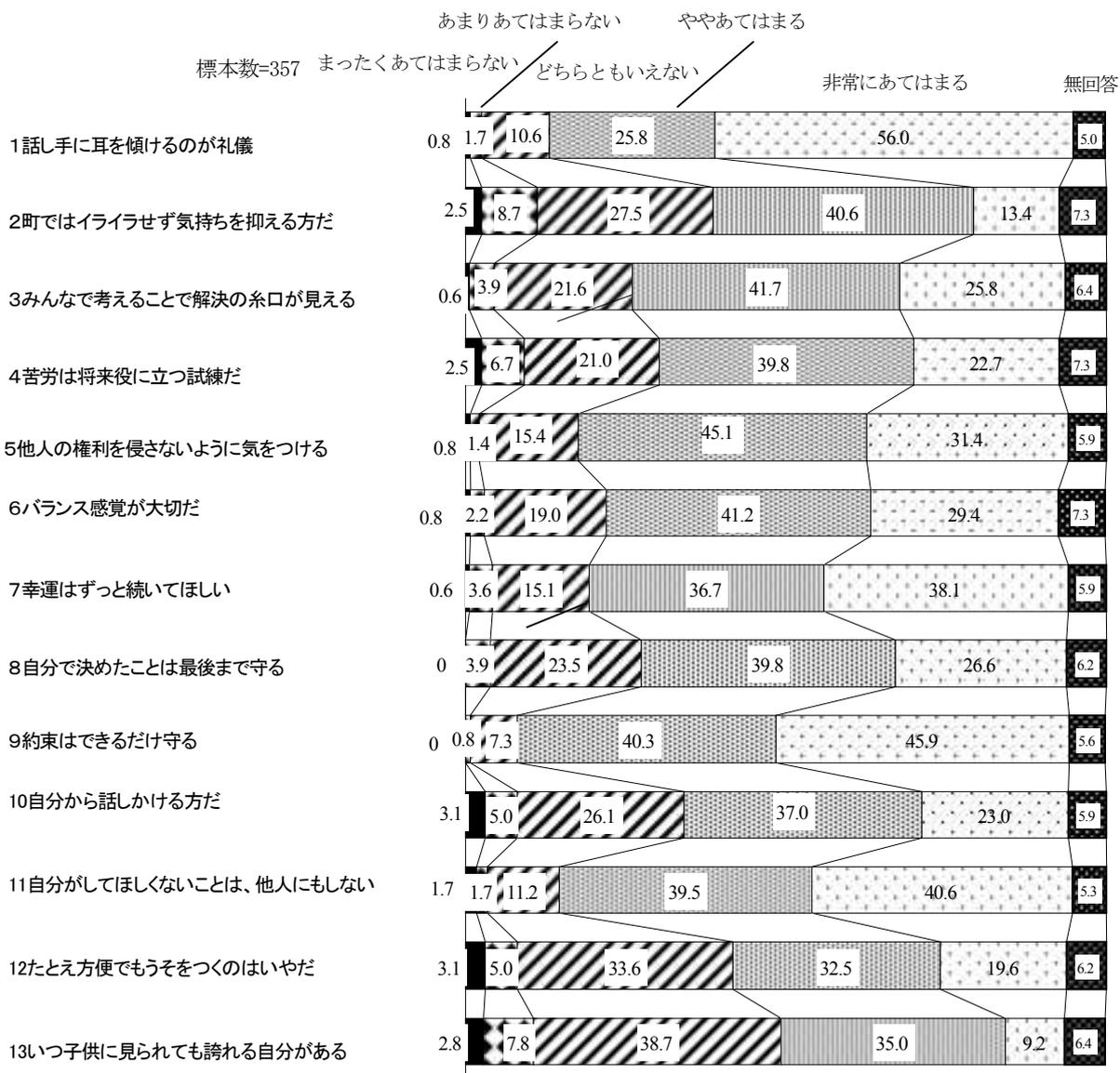
・回答者全員(n=357)に、近所づきあいを挨拶・会話・相互訪問の人数で尋ねた。その結果、回答のあった人での平均をみると、挨拶では14.09人 会話は6.79人 相互訪問は4.16人であった。

28. あなたの近所（地域）についてお伺いします。以下のそれぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。



・回答者全員(n=357)に、住んでいる地域の風物や行事を9例あげてそれぞれについて、認知状況を尋ねた。その結果「ある」と答えた人が最も多かったのは「地域の行事」(77.6%)、次に「立ち話ができそうなみちばた・路地」(67.2%)であった。

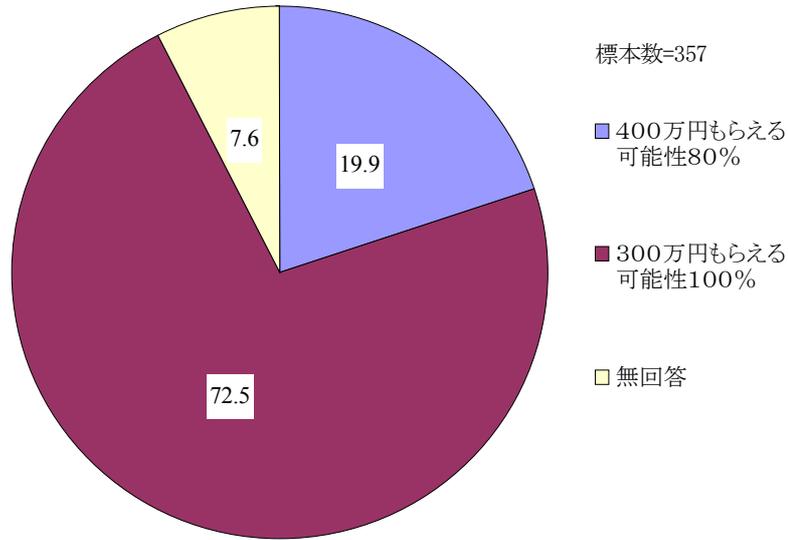
29. 以下の1) から13) それぞれの項目について、あなた自身とあなたのコミュニティに対するあなたの意見に最もあてはまると思う数字を一つ選んで○をつけてください。



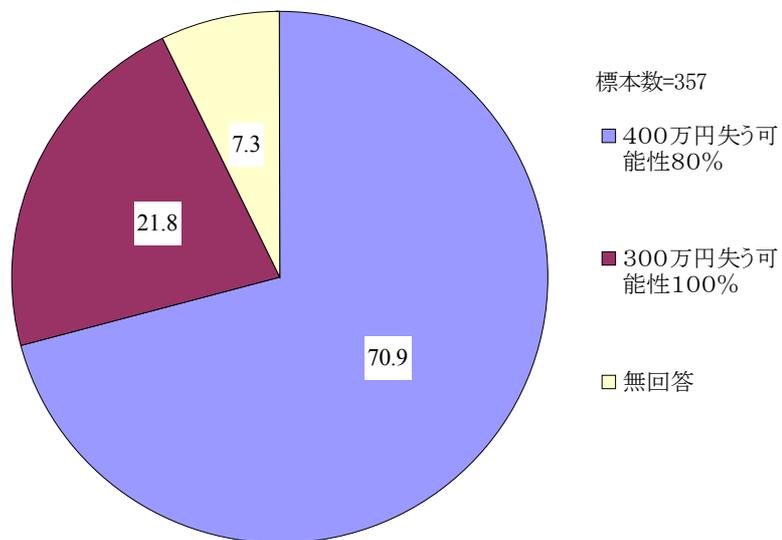
・回答者全員(n=357)に、市民意識に関する項目13項目をあげてそれぞれ尋ねた。「非常に当てはまる」と答えた人が最も多かったのは、「講演会や地域の集まりに参加したとき、話し手に耳を傾けるのが礼儀だと思う」(56.0%)、次に「約束はできるだけ守ることにしている」(45.9%)であった。

(次の質問は、性格タイプ分けのための質問です。)

30. あなたは、次の1)か2)を選ばなくてはならない場合、どちらを選びますか。いずれか一方に○をつけてください。



31. あなたは、次の1)か2)を選ばなくてはならない場合、どちらを選びますか。いずれか一方に○をつけてください。



・回答者全員(n=357)に、リスクと利得に関する質問を行って、タイプ分けを行った。(本編参照)

F10. あなたは呉市のどの地域に住んでいますか。

郵便番号

--	--	--

 -

--	--	--	--

呉市 _____ 町 _____ 丁目

F11. あなたの世帯でもっとも大きな収入を得ているのはあなたですか。

n=357

1) はい 42.3 2) いいえ 54.9 無回答 2.8

F12. あなたの世帯でもっとも大きな収入を得ている方の職業をお教えてください。(○は1つ)。

n=357

1) 研究・技術職	3.1	2) 教員	1.7
3) 保健医療従事者	2.2	4) 弁護士・税理士などの専門職	1.1
5) 自由業	1.7	6) 管理職の公務員(課長以上)	2.2
7) 一般の公務員	8.4	8) 会社・団体等の役員	2.8
9) 会社・団体等の管理職(課長以上)	7.3	10) 一般事務従業者	8.7
11) 店員・外交員・その他のサービス業の従業者	4.8	12) 運輸・通信の現場従業者	2.2
13) 製造・建設業の現場従業者	7.3	14) 自営・商工経営者	7.6
15) 農林漁業	0.8	16) 年金・恩給生活者	26.1
17) 専業主婦	0.0	18) パート主婦	1.7
19) 学生	0.0	20) 無職・その他	4.5
		無回答	5.9

F13. あなたの世帯の1年間の収入はおよそどのくらいですか。あてはまる番号に○をつけてください。

n=357

1) 300万円未満	19.0	2) 300万円以上-400万円未満	19.0
3) 400万円以上-500万円未満	12.9	4) 500万円以上-600万円未満	5.0
5) 600万円以上-700万円未満	6.4	6) 700万円以上-800万円未満	3.4
7) 800万円以上-900万円未満	3.6	8) 900万円以上-1,000万円未満	2.5
9) 1,000万円以上-1,100万円未満	1.4	10) 1,100万円以上-1,200万円未満	0.6
11) 1,200万円以上-1,500万円未満	1.4	12) 1,500万円以上	0.8
13) わからない・答えたくない	19.9	無回答	3.9

F14. 現在のお住まいについてお伺いします。

n=357

① あなたのお住まいは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1) 持地持家	71.4	2) 借地持家	5.0
3) 公団・公社分譲マンション	1.7	4) 民間分譲マンション	1.7
5) 公団・公社賃貸住宅	0.3	6) 県営・市営住宅	1.1
7) 災害復興公営住宅	0.0	8) 社宅・寮	0.8
9) 借家	9.2	10) 民間賃貸アパート・マンション	4.8
11) その他()	0.0	無回答	3.9

② そのお住まいの構造は、どのようなものですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1) 一戸建て 77.6

2) 棟割式住宅（二戸一や三戸一・長屋など） 3.1

3) 木造集合住宅 3.9

→あなたの住居は（ 1.91 ）階

4) 鉄筋コンクリート・鉄骨集合住宅 9.2

→あなたの住居は（ 3.78 ）階

無回答 6.2

③ そのお住まいの住宅の築年数（現在）をお答え下さい。 約 築（ AV. 27.10 ）年

④ 家屋の延べ床面積をお答え下さい。 約 （ AV. 122.35 ）㎡・（ ）坪

⑤ お宅の間取り（例：3LDKなど）をお答え下さい。 （ AV. 5.23 ）

以上で調査は終了です。記入漏れが無いかももう一度ご確認ください。
ご協力、大変ありがとうございました。